

注意報・警報等発令時の対応

「特別警報」(警戒レベル5)が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。

台風等

情報	授業	登校前発令	登校後発令	
警戒レベル2	河川氾濫 大雨 土砂災害 高潮	平常授業	①気象情報や地域の実情等を家族と相談し、安全を確認した上で登校する。 ②安全に登校することが困難な場合は、学校に連絡し、自宅で待機する。その後、安全に登校できそうな状況になった場合は登校する。	①気象状況や交通、道路状況に応じ、下校することもある。 ②平常授業を実施するが、状況に応じて放課後の部活動は活動中止にすることもある。
	河川氾濫 大雨 土砂災害 高潮	平常授業 又は 授業中止	原則 「レベル2」 発令時に準ずる。 ※事態状況により、学校での留め置き、休校措置を講ずることを検討する。	原則 「レベル2」 発令時に準ずる。 ※事態状況により、学校での留め置き、休校措置を講ずることを検討する。
警戒レベル3	暴風警報	授業中止	登校経路にあたる市町で発令された場合以下のとおりとする。 ①午前6時の時点で発令されている場合は自宅待機とする。 ②午前11時の時点で警報が解除されていない場合は休校とする。 ③午前11時以前に警報が解除された場合は、交通、道路状況の安全を確認した上で登校する。ただし、安全に登校することができない場合は、学校に連絡し、自宅で待機する。	①安全を確認した後、下校する。 〈確認事項〉 ・交通、道路及びバスの運行状況の確認 ・保護者引取りの有無 ・途中で帰宅不能になった場合の対処方法 ②安全に下校することが困難な生徒は、保護者と連絡を取り適切な対応をする。 ③安全が確認できない場合や、保護者と連絡がつかない場合は、学校で待機(宿泊)する。
			警戒レベル4	授業中止

※ 生徒の実情(通学範囲等)及び周辺の状況(立地状況、公共交通機関の状況等)を踏まえ、生徒の安全を最優先にした柔軟な対応を行う。

※ 気象庁や市町から発表される情報(警戒レベル、土砂災害警戒情報)を考慮する。

地震

情報	授業	登校前発令	登校後発令
南海トラフ沿いで大きな地震が起きる可能性が、以前より高いと判断された場合	授業中止	①情報に注意し、安全な場所に避難するなど、地域や家庭での取り決めに従って行動する。 ②上記「暴風警報」に準ずる。	①安全が確認できない場合や、保護者と連絡がつかない場合は、学校で待機(宿泊)する。 ②安全が確認された場合、下校する。 〈確認事項〉は上記、暴風警報に準ずる。

(震度6弱以上の緊急地震速報は特別警報に位置づけられています。ただちに命を守る行動をとってください。)

津波

情報	授業	登校前発令	登校後発令
津波警報	授業中止	①高台が指定のビルへ避難する。 ②上記「暴風警報」に準ずる。	①本校5階に移動する。 ②警報が解除されるまで学校に待機(宿泊)する ③家族が迎えに来た場合であっても、学校と一緒に待機(宿泊)する。
大津波警報(特別警報)			

※ 登校や休校の情報は、本校ホームページ、学校登録携帯メール(マチコミ)等により連絡します。